



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
コード番号 6157 U R L <https://www.ns-tool.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理部長 (氏名) 戸田 覚 T E L 03-6423-1135
配当支払開始予定日 一
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 6,955	% △1.2	百万円 1,283	% △1.1	百万円 1,312	% 0.8	百万円 924	% 0.7
2025年3月期第3四半期	7,042	4.3	1,297	△3.8	1,302	△4.3	918	△1.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 901百万円 (△2.4%) 2025年3月期第3四半期 923百万円 (△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 37.18	円 銭 36.89
2025年3月期第3四半期	36.90	36.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 19,365	百万円 18,113	% 92.5	円 銭 734.59
2025年3月期	19,941	18,415	91.4	731.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,919百万円 2025年3月期 18,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 9,140	% △3.1	百万円 1,310	% △25.9	百万円 1,330	% △25.3	百万円 940	% △25.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	25,035,034株	2025年3月期	25,035,034株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	641,263株	2025年3月期	116,163株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	24,874,795株	2025年3月期 3 Q	24,889,527株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(追加情報)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国関税問題により一時的に輸出企業を中心に影響がみられましたが、AI関連需要に牽引され、緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、物価高騰や地政学的リスクの継続、米国通商政策の動向等により先行きは依然不透明な状況が続いています。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、国内は、半導体や電子部品・デバイス関連が、AI関連やデータセンター向けを中心として概ね好調を維持し、自動車関連では、米国関税問題の影響を強く受けた停滞が続いている輸出向け金型案件や量産部品加工等に幾分動きがみられました。海外は、中華圏を含むアジアを中心に自動車や光学、データセンター関連向けが概ね好調に推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、10月に名古屋で開催された工作機械見本市「メカトロテックジャパン2025」に出展し、新製品4型番を発表するとともに、加工用途に合わせた製品のPRを行いました。

製品面では、アジャイル型開発を推進し、当期10型番の新製品リリースを目標として、12月までに新製品9型番を市場投入しました。10月にはCBNスーパースパイラルボールエンドミル「SSPB220」、12月には樹脂加工用バリ低減3枚刃右刃左ねじれスクエアエンドミル「RSE325LH」と高硬度鋼高精度加工用4枚刃ロングネックラジアスエンドミル「MHRSH430RSF」を発売しました。

生産面では、当社グループの小集団改善活動である「オレンジFC活動」を中心に、高精度で高品質を維持しながらリードタイムの短縮に取り組み、効率的な生産体制を構築することによりコスト削減を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,955百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は1,283百万円（同1.1%減）、経常利益は1,312百万円（同0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は924百万円（同0.7%増）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が5,562百万円（前年同期比0.9%減）、「エンドミル（6mm超）」が583百万円（同2.8%減）、「エンドミル（その他）」が280百万円（同15.0%減）、「その他」が527百万円（同6.1%増）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は576百万円減少し19,365百万円となりました。これは主に、自己株式の取得及び法人税等や賞与の支払により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して274百万円減少し、1,251百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払や賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、自己株式の増加等により302百万円減少し18,113百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は92.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	9,868,215	9,474,337
受取手形及び売掛金	1,393,362	1,265,724
商品及び製品	1,408,719	1,412,843
仕掛品	239,620	237,538
原材料及び貯蔵品	659,722	637,626
その他	221,890	173,169
流动資産合計	13,791,530	13,201,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322,846	2,252,796
機械装置及び運搬具（純額）	1,334,516	1,210,017
土地	800,483	885,086
建設仮勘定	244,181	307,662
その他（純額）	140,031	154,057
有形固定資産合計	4,842,059	4,809,619
無形固定資産	15,923	27,144
投資その他の資産		
投資有価証券	31,515	40,185
保険積立金	628,718	630,385
繰延税金資産	490,151	496,121
その他	142,011	160,600
投資その他の資産合計	1,292,396	1,327,293
固定資産合計	6,150,379	6,164,057
資産合計	19,941,910	19,365,296

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
買掛金	213,984	212,728
未払法人税等	270,394	148,284
賞与引当金	282,541	159,285
役員賞与引当金	95,162	60,577
その他	438,985	450,992
流动負債合計	1,301,067	1,031,867
固定負債		
長期未払金	224,952	219,552
その他	—	350
固定負債合計	224,952	219,902
負債合計	1,526,019	1,251,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,330	455,330
資本剰余金	418,223	418,223
利益剰余金	17,347,302	17,495,908
自己株式	△134,548	△562,025
株主資本合計	18,086,307	17,807,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,058	12,955
為替換算調整勘定	128,339	98,949
その他の包括利益累計額合計	135,398	111,905
新株予約権	194,184	194,184
純資産合計	18,415,890	18,113,526
負債純資産合計	19,941,910	19,365,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,042,802	6,955,149
売上原価	3,310,834	3,199,303
売上総利益	3,731,967	3,755,845
販売費及び一般管理費	2,434,763	2,472,551
営業利益	1,297,204	1,283,293
営業外収益		
受取利息	78	209
受取配当金	805	1,083
作業くず売却益	13,023	24,526
その他	2,946	7,265
営業外収益合計	16,853	33,083
営業外費用		
賃貸費用	—	2,124
為替差損	11,128	—
支払手数料	5	1,514
その他	20	—
営業外費用合計	11,154	3,638
経常利益	1,302,903	1,312,739
特別利益		
固定資産売却益	1,165	250
特別利益合計	1,165	250
特別損失		
固定資産売却損	444	95
固定資産除却損	2,203	243
特別損失合計	2,648	338
税金等調整前四半期純利益	1,301,421	1,312,651
法人税等	382,963	387,880
四半期純利益	918,458	924,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	918,458	924,770

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	918,458	924,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,056	5,896
為替換算調整勘定	3,130	△29,390
その他他の包括利益合計	5,187	△23,493
四半期包括利益	923,645	901,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,645	901,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、製品の製造様式、製品の市場及び顧客を系統的に区分した製品部門別に戦略を構築し、事業活動を開拓しております。

したがって、当社グループは製品部門別のセグメントから構成されており、「エンドミル関連」と「その他」の2つを事業セグメントとしております。「エンドミル関連」は当社グループが営む主力の事業であり、超硬小径エンドミルを中心とした切削工具の製造販売にかかる事業であります。また、「その他」は工具ケースを中心としたプラスチック成形品の製造販売にかかる事業であります。なお、「エンドミル関連」は、製品のサイズ等により、エンドミル（6mm以下）、エンドミル（6mm超）、エンドミル（その他）に区分しております。

なお、「その他」の事業セグメントの売上高、利益又は損失の額及び資産の金額がいずれもすべての事業セグメントの合計額の10%未満であるため、報告セグメントを1つとしております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	473,601千円	446,650千円

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払手数料」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた26千円は、「支払手数料」5千円、「その他」20千円として組み替えております。